

大規模水害時の住民避難 における地域連携

本年9月の関東・東北豪雨は、大規模河川氾濫について多くの教訓を与えました。この水害では、迅速、確実かつ正確な避難情報の発令と伝達、避難情報に基づいた避難行動に加え、市町村境界を越えた広域避難が課題としてクローズアップされました。甲府盆地において釜無川や笛吹川が氾濫すると、濁流が都市部を襲い、急流による家屋倒壊、濁流の滞留による長期浸水等により、被害は常総市よりもはるかに拡大することが予想されます。そこで、このシンポジウムでは、甲府盆地を例として、これからますますリスクが高まるとされる大規模水害時の広域避難について議論することとしました。日本災害情報学会の会員のみならず、多くの自治体関係者、県民の皆さんの参加をお願いします。

日時：2015年10月24日（土）16：40～18：30

開催場所：甲府市総合市民会館芸術ホール

参加費：無料

1. 基調講演：山梨における治水の歴史と治水対策（砂田 憲吾氏・山梨大学名誉教授）
2. パネルディスカッション

登壇者



山梨大学特命教授
名誉教授

砂田 憲吾氏



国土交通省関東地方
整備局甲府河川国道
事務所 所長

田中 克直氏



新潟県見附市
企画調整課
主幹(兼)課長補佐

吉原 雅之氏



NHK甲府放送局
局長

飯野奈津子氏



FM-FUJI
取締役放送本部長

手塚義人氏

討論コーディネーター



山梨大学地域防災・
マネジメント研究セ
ンター長・教授

鈴木 猛康氏



総括 甲府市長
樋口雄一氏



司会 気象予報士
日本災害情報学会企画委員
半井小絵氏